

3款 3項 1目

第1章 思いやりと希望にみちたまちづくり

【会計】介護保険特別会計

基本施策4 高齢者支援の充実

3款：地域支援事業費 3項：包括支援事業・任意事業費 1目：包括支援事業費

施策4 認知症施策を推進します

事業	3	認知症施策推進事業
担当所属	高齢者福祉課	

【予算額・決算額】(円)

予算額	決算額	(財源内訳)				
		一般財源	国支出金	県支出金	地方債	その他特財
13,849,000	12,371,114	2,721,646	4,824,734	2,412,367	0	2,412,367

【決算額の節別内訳】(円)

08	報償費	381,000	09	旅費	4,104
11	需用費	152,544	13	委託料	11,833,466

【実施計画の概要】

事業の内容	<p>(1)認知症初期集中支援推進事業 認知症の早期診断・早期対応に向けた検討を行う会議を設置するとともに、認知症の医療・介護・福祉の専門職で構成される「認知症初期集中支援チーム」が、訪問活動等により安定的な支援に移行するまでの支援を行います。</p> <p>(2)認知症地域支援・ケア向上事業 ①認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに配置し、認知症を支援する関係者の連携、地域における認知症の人と家族を支援する体制を構築するための取り組みを行います。 ②介護施設等での認知症相談窓口の設置、認知症カフェの開設、多職種協働研修等を行います。</p>
事業の目的	認知症の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、認知症の早期発見・早期対応に向けた支援体制を構築するとともに、認知症の理解促進のための啓発を行い、「認知症にやさしい佐倉」を推進します。
事業の効果	地域包括ケアシステムを構築することで、地域の高齢者が医療・介護が必要な状態になっても、安心して在宅生活を継続することができます。

【事業の概要】

- ①平成28年10月から認知症初期集中支援チームの活動を開始しました。チーム員設置数：5か所、対象者数：30人、訪問延べ回数120回
- ②認知症地域支援推進員を地域包括支援センター内に配置し、認知症カフェの企画・運営支援、関係機関とのネットワークづくりを行いました。カフェ開催回数：59回、延べ参加者数：1,344人、多職種連携研修開催：1回、受講者55人

【活動指標・成果指標】

指標名	平成28年度	平成27年度	平成26年度
認知症対策検討会議の開催	2回	2回	2回
認知症の人と家族に対する支援の場 (認知症カフェ)の設置	5か所	5か所	—
専門職対象の研修会参加者数	55人	93人	—
認知症初期集中支援チーム員の支援対象者	30人	—	—